

平成 31 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和元年 11 月 13 日(水)	時間	14 時 00 分 ～14 時 30 分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 常岡委員長(伊丹市医師会会長)、東委員代理として児玉委員(尼崎市医師会副会長) 森田副委員長代理として飯田委員(伊丹市歯科医師会副会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長) 辻委員(伊丹市消防局長)、坂本委員(伊丹市健康福祉部長) 荒崎委員(川西市健康増進部長) 岡野委員(学識経験者)、中田委員(伊丹市病院事業管理者) 飯石委員(市立伊丹病院病院長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長) 大迫委員(市立伊丹病院看護部長)、田中委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 栗田委員(宝塚市医師会会長)、藤末委員(川西市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長) 清水委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、赤井委員(宝塚市健康福祉部長) 入江委員(三田市福祉共生部長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、 オブザーバー(市立伊丹病院)： 筒井(副院長)、三木(診療部長)、太田(歯科口腔外科主任部長) 萩原(放射線診断科主任部長)、勢旗(医療技術部室長)、上田(薬剤科長)</p>				
議題 内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <p>平成31年度第2回市立伊丹病院地域医療支援委員会を始めさせていただきます。 いつも通り、円滑で且つ有意義な会議を目指したいと思っておりますので、ご協力のほど よろしくお願い申し上げます。</p> <p>■ 委員紹介</p> <p>席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。 本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第 2 条ならびに第 3 条による公開となっており 開催案内したが傍聴希望者は無。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本委員会は議事録作成のため録音している ・会議録の記載内容回 <ol style="list-style-type: none"> 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 <p>討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し 第 18 条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開</p> <p>■ 議事署名人の指名について(2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常岡委員長より指名 飯田委員、辻委員に依頼したい。 両者共に了承。 <p>■ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紹介患者に対する医療提供について <ul style="list-style-type: none"> 資料 1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤に従って説明 資料 1-① 紹介率 83.5% 逆紹介率 107.4%で、承認要件を満たしている。 資料 1-② 前年比較し外来患者数は減少、紹介患者数においては診察依頼、入院目的、 検査依頼共に増加。合計として 1538 件の増加。 				

資料 1-③ 入院患者の 40.8%が紹介を受けた患者であり、前年度と比較し約 4%の増加（前年 36.9%）。

資料 1-④ 紹介患者の 81%が地域医療連携室を利用され受診された（前年度より 1%の増加）。

資料 1-⑤ 住所地別紹介患者数では伊丹市、宝塚市、尼崎市、川西市の順となっている。

→紹介率は年々増加し、80%を超えている。

外来患者数の減少については、平成30年の診療報酬改定により、選定療養費を5000円に設定したことによる影響で紹介状の無い患者が減少、紹介患者は増加しており、機能分化が進んでいると捉え、特に心配するようなことではないと思われる。むしろ順調である。

2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-① 前年度と比較して、救急搬送数はやや減少、独歩は増加、全体としてはやや増加。

資料 2-② 救急搬送お断り率は 14.2%で、前年度と比較し 2.5%増加した。

→救急お断り件数は、平成25年度と比較してほぼ半減している。前年度と比較して増加しているのは、専門外ならびに受け入れ態勢が十分でない診療科への依頼が影響している。

→救急隊からの救急搬送数は、全体として昨年とほぼ同数、やや減少気味である。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

地域医療従事者研修会は 17 回開催した。院内の出席者はのべ 385 名、院外からは 345 名。

承認要件の年間12回以上開催を満たしている。

→院内研修を地域医療連携登録医や従事されているコメディカルに対し、オープンにしているのは、「医療安全研修会」「感染対策研修会」「情報セキュリティ研修会」である。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

利用率は 2.9%、前年度より減少した（前年度は 3.4%）。

5) その他

→市立伊丹病院が地域医療支援病院としての実績をしっかりと積み上げている。

今後とも、地域医療に貢献していただきたく思う。

■ 閉会のごあいさつ

本日はお忙しい中ご出席くださり誠にありがとうございます。令和元年度前半の地域医療支援病院としての当院の取組み状況をご報告申し上げました。

お蔭様で今年度前半にご紹介いただいた患者さんの数は昨年に比べさらに増加しており、紹介率も昨年より高い 83.5%に達しました。また逆紹介率も高い数値を維持できています。みなさまのご協力の賜物と感謝申し上げます。また救急患者の受け入れ数も昨年とほぼ同数で、今年も年間 12,000 人くらいになりそうです。救急搬送も昨年度同様年間で 4,500 件ほどになる見込みです。

今年 4 月に地域医療連携室の機能強化を目的に中村主任部長と伊東室部長の 2 名体制としました。9 月 7 日には第 4 回昆陽池さくら CLUB を開催し多くの登録医の先生にご参加いただきました。今回は診療科の紹介ポスターを展示いたしました。今後も顔の見える関係づくりを目指して趣向を凝らしていきたいと思っておりますのでご協力のほどをお願いいたします。また、昨年度後半に関前副院長の肝煎りで始められた地域医療連携茶論を今年度は中村主任部長と伊東室部長が継続して運営し

てくれています。10名程度の先生方と顔を突き合わせてざっくばらんに話ができる場です。これが今後発展することを期待しています。

7月に血管内治療（IVR）のスペシャリストが放射線診断科に来てくれました。これまでもIVRは行っていましたが、例えば肝臓癌の動脈塞栓術をより選択的に治療することによって治療後の肝障害を軽減できますし、これまで施行できなかった咯血に対する止血なども可能になりました。

また来年1月には循環器内科の不整脈アブレーション治療の専門家が增える予定ですので今後治療数の増加を期待しています。今後もより広い領域で高度医療ができる病院を目指して体制を強化してまいります。

8月から整形外科の初診外来では紹介状をお持ちの患者さんのみを受付けさせていただいています。整形外科の医師ができるだけ多くの手術を行い、緊急手術にも対応できる体制を作ることが目的ですが、登録医の先生方のご協力のお蔭で混乱もなく順調に経過できていますことを感謝申し上げます。

来年度も臨床研修医の定員は、医科が10名、歯科が1名です。今年はいずれも過去最高の医科40名、歯科6名の応募がありました。先日マッチングの結果が発表されお蔭様で医科10名、歯科1名のフルマッチとなりました。地域医療の研修でまたご面倒をおかけしますがよろしく願います。

本日は本当にありがとうございました。今後ともご支援のほどをお願い申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。

■ 謝辞

医療の改革が急速に進む中、厚生労働省は全国1,652の公立・公的病院（2017年度時点）のうち、424の公立病院・公的病院等については「再編統合について特に議論が必要」としてその病院名を公表した。また、地域の医療計画をつくる各都道府県に対しては、ベッド数や診療機能の縮小なども含む再編を地域で検討し、2020年9月までに対応策を決めるよう求めた。

更に、他の病院への統合や病床数の削減、診療機能の縮小などを2025年までに終えるよう要請する予定である。急性期病床数が厚生労働省が求める数に減少するまでは、病院にとって今暫くは厳しい時代が続くと思います。

なお、当院においても変革は必要と考えており、皆様をご承知のように、公立学校共済組合近畿中央病院との統合等を含めて、昨年には「市立伊丹病院あり方検討委員会」を立ち上げて、最終的には本年2月に澤 芳樹委員長から藤原保幸市長に、「検討報告書」として手交されました。これを受けて統合等に関する調査事業として、令和元（2019）年5月29日に第1回「市立伊丹病院と公立学校共済組合近畿中央病院の統合検討会議」が開催され、12月にはその「検討報告書」が出される予定です。これを基に来年の3月市議会では統合の賛否の議論が開始され、賛成となれば統合に向けての基本計画に向かって進んでいくものと期待しております。

この統合を進めるためには、ここにおられます阪神圏域の先生方や関係者の皆様のお力添えが必要で有り、今後とも暖かいご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

本日は、「地域医療支援委員会」にご参加頂きありがとうございました。

心よりお礼申し上げます。

別紙のとおり「平成 31 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者 令和 / 年 / 2 月 12 日 常岡 豊  印

別紙のとおり「平成 31 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人 令和 / 年 12 月 17 日 辻 博夫  印

議事録署名人 令和 / 年 12 月 20 日 飯田 良祐  印